

ハワイ サステナビリティ FW 研修

1) 目的

① 持続可能な社会を学ぶ

- ・環境や平和、科学技術、伝統的な文化の継続など、ハワイでの持続可能な社会構築の取り組みに触れ、持続可能な社会のあり方を考える。
- ・貧困や多文化共生、日系人の歴史などを学び、私たちが持続可能な社会を創るために何ができるか考える。

② 国際理解

- ・ホームステイや学校交流、その他の体験型学習を通して異文化を理解し、受容、尊重する人間性を養う。
- ・積極的に英語でのコミュニケーションを図り、コミュニケーション能力と英語力を高める。

2) 概要

日程：令和元年 11 月 19 日～11 月 28 日

場所：ハワイ・オアフ島

参加生徒：9 名 プログレスコース 2 学年

協力団体：ハワイ・グローバル・エデュケーション・ファンデーション

3) 日程

月日	午前	午後	備考
11 月 19 日		米沢から成田・ホノルルへ	機内泊
11 月 19 日	平和学習（パールハーバー）	燃料電池自動車工場視察	ホームステイ
11 月 20 日	学校交流	NPO 視察 （貧困層への栄養指導）	ホームステイ
11 月 21 日	ハワイ州農務局訪問	日系人センター訪問	ホームステイ
11 月 22 日	食育学習（オーガニック）	ケアセンター訪問 （貧困対策）	ホームステイ
11 月 23 日	ホストファミリーと過ごす		ホームステイ
11 月 24 日	ホストファミリーと過ごす		ホームステイ
11 月 25 日	ハワイ文化学習	サステナビリティ学習 プレゼンテーション	ホテル泊
11 月 26 日	自然学習	自主研修	ホテル泊
11 月 27 日	ホノルル発 成田へ	翌 28 日 米沢着	

4) 検証

このハワイ研修はグローバル・ラーニングにおいて、視点を広げ、学びを深めるためのフィールドワークと位置付けて実施している。そのため、プログラムも貧困や平和、食と健康、環境、多文化共生など、グローバルで学ぶ領域に沿って展開している。担当者が2年前にハワイに視察に訪れ、提携団体である「ハワイ・グローバル・エデュケーション・ファンデーション」のスタッフと5日間かけてオアフ全土をめぐって研修先を検討した。実際に日系人センターで日系人の歴史を学び、日系人との対話を通して、このグローバル社会における日本人としてのアイデンティティを考えることが出来た。また、ハワイのアプアアを中心とした文化の本質を体験的に学ぶことが出来たため、生徒たちは文化の重要性を認識し、また、循環型社会が持続可能な社会の構築に必須であり、この置賜地区にもそれが可能であるとの認識を新たにした。さらに、実際に貧困地区での栄養指導、改善活動を行っている LOOTS という施設訪問では、ガーデントゥテーブルが最も効果的であるとの報告を受け、自身の課題研究のヒントとした生徒もいた。

予算の関係で今年度はオアフ島のオーガニックファームへの訪問が出来なかったため、再度提携団体と検討し、グローバルにより沿った形でのフィールドワークが出来るようにしたい。



フィリピン 英語×ソーシャルアクション研修

1) 目的

- ・語学研修、ソーシャルアクション（ボランティア）、ホームステイの3つの活動を通じて、語学力をつけつつ社会と関わり、他者と共有・行動する能力を身につける。
- ・フィリピンの文化や風習を体験し、また、フィリピンの社会課題を学びながら、現地で支援を行っている NGO でボランティアをすることで、グローバルな視点を養い、社会貢献への意識を涵養する。

2) 概要

日時：令和元年7月19日～8月5日

場所：フィリピン・イロイロ市

参加生徒：2名（3年生）

協力団体：NPO 法人 LOOB

3) プログラム

月日	午前	午後	備考
7月19日		成田へ出発	ホテル泊
7月20日	成田発 フィリピンへ	マニラ発イロイロへ	シェアハウス泊
7月21日	オリエンテーション	観光	シェアハウス泊
7月22日	英語学習	ゴミ山コミュニティ訪問	シェアハウス泊
7月23日	英語学習	子どもたちへの教育活動	ホームステイ
7月24日	英語学習	週末ボランティア企画	ホームステイ
7月25日	英語学習	先住民コミュニティ訪問	ホームステイ
7月26日	英語学習	フェアトレード活動	ホームステイ
7月27日	ボランティア活動		ホームステイ
7月28日	ホームステイでオープンタイム		ホームステイ
7月29日	振り返り	LOOB 活動補助	ホームステイ
7月30日	英語学習	ゴミ山コミュニティ訪問	ホームステイ
7月31日	英語学習	子どもたちへの教育活動	ホームステイ
8月1日	英語学習	フェアトレード活動	ホームステイ
8月2日	プレゼン準備	プレゼンテーション	シェアハウス泊
8月3日	ギマラス島ビーチ&世界遺産見学		ターミナル泊
8月4日	ギマラスからイロイロへ		シェアハウス泊
8月5日	イロイロから成田へ	成田着	ホテル泊
8月6日	成田から米沢へ		

4) 検証

ゴミ山で暮らすスカベンジャーのコミュニティに入り、その家庭にホームステイをしながら彼らと行動を共にすることは、多感な高校生にとって、人生観をひっくり返すような大きな体験であった。貧困＝不幸という固定観念を持っていた生徒が、実際にスカベンジャーと生活を共にすることで、彼らの精神的な豊かさに触れ、「幸せとは何か」「貧困とはどういうことなのか」と考え、それらの定義を彼らなりにとらえなおすことができた。また、彼らの支援活動として LOOB が行っているフェアトレード商品を自分たちも作成してみることで、フェアトレードへの考え方も大きく変化した。何より、この経験から貧困問題が自分事となり、自分たちの生活様式を見直すようになった。そして、学びの意識が変わり、授業やほかの探究学習への取り組む姿勢が変わった。かれらの行動変容を促すという点において、非常にいい海外研修であったと考察される。この経験によって、コミュニティ開発という視点をもって、進学先を選択したり、国際協力を学べる大学を進学先として選択したりと、進路にも影響を与えた。

プログラムは LOOB が実際に公開しているスタディツアーを本校生用にカスタマイズして組み立てている。今回は夏休みを利用した開催であったため、1、2年生が部活動の影響で参加ができなかった。また、台風の影響で最終日のギマラス島での散策からイロイロに戻ることが出来ず、帰国便に影響が出た。したがって、開催日時の検討が必要である。

